

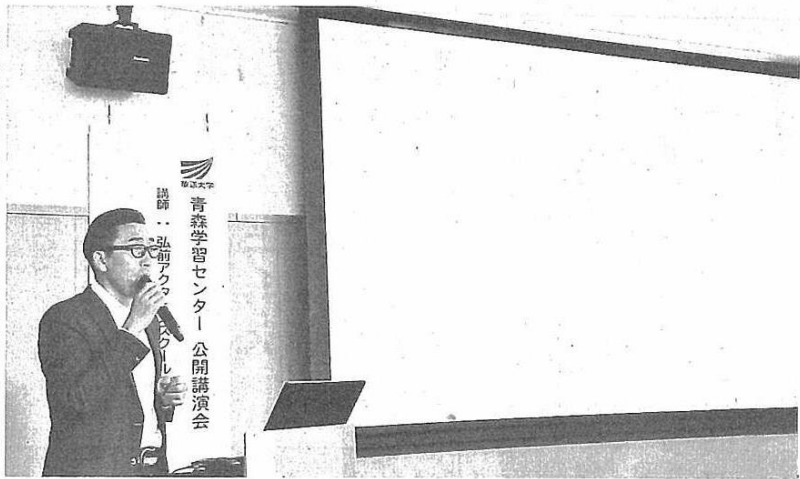
歌や踊りで誰かを元気に

「りんご娘」生みの親が講演

弘前市を拠点に活動 目指す若者たちの挑戦
するご当地アイドル について語った。放送
「りんご娘」の生みの 大青森学習センターが
親で、同市の芸能スク 主催した。

ール「弘前アクターズ 樋川さんは弘前市出
スクール」代表の樋川 身。東京の大学を卒業
新一さん(49)が26日、 し就職した後、家業の
弘前大のコラボ弘大で 自動車会社を継ぐた
「大好きなこと、誰 め、1997年にUタ
かの役に立つ」地方活 ーン。2000年7月
性化を目指したアイド 有志で同スクールを
ル達の実践」と題して 設立した。芸能経験も
講演し、地方から夢を 資金も無い、ゼロから

地方活性化を目指したりんご娘などをテーマに講演
する樋川新一さん―弘前市の弘前大「コラボ弘大」



来年20年 解散危機から全国区アイドルに

のスタートだったが、
「自然などの環境に恵
まれた地方は、音楽や
芸術といった感性を育
てる最高の土壌。若者
を中心に何か面白いこ
とを続けられれば、都会と
地方の『逆転の時代』
が来る」という思いが
あったという。

りんご娘をプロデュ
ースしたのは同年9
月。「田舎臭さ」と「か
っこ良さ」のギャップ
を魅力に都会のアイド
ルとの差別化を図り、
「地方や農業など田舎
のアイドルだから歌え
る楽曲にこだわった」。

ただ、当初はメンバ
ーが次々と離脱し、「1
人だけになったことも
あり、何度も解散を考
えた」と当時の状況を
明かした。

軌道修正を図ろう
と、樋川さんは歌や踊
りを教える前に、まず
は社会に通用できる人
材を育てることから始
めた。メンバーたちに
共同生活や自炊を体験
させるなどし、姿勢や
返事の仕方から入前で
話す力、感謝の気持ち
を育むことに努めた。

メンバーは15年から
現在の4人になった。
転機は、16年に東京で
開催された全国のアイ
ドルたちがアニメソン
グをカバーするコンテ
スト「愛踊祭」に参加
した242組のアイドル
の中から優勝し、一
躍、全国区に。夢を追
い続けたメンバーたち
の成長に感動したと語
る。

メンバーを交代しな
がら続いてきたりんご
娘は、来年9月で結成
20年を迎える。樋川さ
んは「きっと、青森、
日本で誰かを元気にす
るような活躍ができる
と思う」と期待を込め
た。
【藤田晴雄】

毎 日 新 聞